

館林厚生病院だより 2011.11.10

りれいと



vol. 40

理念

信頼、安心 すべては、患者さんのために
基本方針

1. 常に医療資源を効率的に利用し、
医療の質と経済性の調和をめざす
2. チーム医療に取り組み、安全な医療と
快適な療養環境を提供する
3. 地域医師と共助し、住民の健康を支え
る病院となる

日本医療機能評価機構認定病院

<http://www.tatebayashikoseibyoin.jp/>

館林厚生病院からのお知らせ

①初診に係る保険外併用療養費の 料金改定について

地域医療支援病院の承認(平成23年6月)に伴い、平成24年1月1日より初診に係る保険外併用療養費を2,625円(税込)に改定させていただきます。

初診に係る保険外併用療養費とは、医療法および健康保険法より、病院と医院との機能分担を推進するために、他の医院からの紹介状をお持ちでない初診の患者さんが200床以上の病院に受診する時に負担していただくものです。

当院では、現在初診に係る保険外併用療養費として、1,050円(税込)をお支払いしていただいておりますが、地域医療支援病院として、より一層地域の医療機関(医院)と連携し地域完結型医療を推進するため、平成24年1月1日より2,625円(税込)(医院での紹介状の作成に係る負担金相当額)に変更させていただきます。ご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。

初診に係る保険外併用療養費をご負担いただく必要のない方

- ・他院からの紹介状(診療情報提供書)をお持ちの方
 - ・緊急の場合(救急車での搬送等)
 - ・現在継続して治療中で、さらに他科で診察を受けようとされる方
 - ・生活保護法の医療扶助の対象となっている方
 - ・特定の疾患や障害などで各種公費負担を受給されている方
- ※福祉医療費支給制度受給の方はご負担いただきます。



※地域医療支援病院とは、地域の医療機関と機能分担し、共同で地域住民の健康を守り、疾患の加療を行う「地域完結型医療」の中核となる病院です。

②建て替え工事が始まります

館林厚生病院(邑楽館林医療事務組合)は入院施設の耐震化と医療機能の充実を図るため、新病棟の建て替えなどの施設の整備を行います。工事期間は平成24年着工、平成26年の完成を目指します。

患者さんをはじめ地域の方々にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



完成イメージ(南側)

鉄筋コンクリート造り地下1階、地上8階

1～2階 : 外来診療棟

3階 : 管理棟

4～7階 : 入院病棟

病床数 : 合計359床

(現在の病床数を維持)

整備事業基本計画の概要

◆構造及び配置◆

耐震化が必要とされている病院本棟部分を鉄筋コンクリート造り地下1階地上8階に建て替えます。現在の施設で耐震基準に問題のない施設を有効利用し、新病棟と一体化した病院施設を建設します。

外来診療室を新病棟の1階と2階に配置し、3階に管理部門、4階から7階が入院病床となります。

病床数は一般病床353床(急性期病床305床、回復期リハビリテーション病床48床)と第二種感染症専用病床6床、合計359床(現在の病床数を維持)となります。1床当たりの床面積は6.4平方メートルから8.0平方メートルとなり密度の高い処置にも対応可能な広いスペースを確保します。また、患者専用の食堂やデイルームなどの設置により日常生活に配慮した療養環境を提供します。

◆災害拠点病院としての機能◆

館林厚生病院は地震や大規模災害の発生時に医療の中心的な役割を果たす病院として、平成23年4月1日に災害拠点病院(地域災害医療センター)として群馬県から指定されました。

災害時の安全性の確保と救急医療を行うために、自家発電装置の充実を図り、3階講堂や外来ホールに医療ガスや非常用電源を配備した救護スペースを確保します。また、簡易テントの設置が可能な避難場所の確保、食品や医薬品などの備蓄倉庫の設置、仮設トイレの設置など、災害時に柔軟に対応できる施設を整備します。



完成イメージ(北側)

第7回病院まつりを開催しました！

10月1日(土)に第7回病院まつりが開催されました。当日は天気にも恵まれ、大盛況となりました。

今年で7回目となる病院まつりですが、来年からは病院耐震化工事のため、しばらくお休みとなります。これまで続けてこられたのは地域住民のみなさまのおかげと職員一同感謝しております。ご来場いただきましたみなさま、ご協力いただきました関係各位にお礼申し上げます。



職員によるよさこいそーらん



こども広場のヨーヨー釣り

病院まつり売上金は日本赤十字社を通じて東日本大震災被災地へ寄付いたします。

第6回館林邑楽医療フォーラム開催決定！

今年度も館林邑楽医療フォーラムを下記の日程で開催いたします。
詳細が決まりましたら院内にポスターを掲示いたしますのでみなさんぜひお越しください。

テーマ： これからの医療～新しい治療法～

日時： 平成24年2月4日(土) 午後1時30分～午後4時30分まで

場所： 館林市三の丸芸術ホール (住所： 館林市城町1番2号)

当院からのお願い

- ❖ 保険証は毎月1回必ず提出してください。
- ❖ 面会時間は午後1時から午後7時までです。入院されている方のためにも時間を守りましょう。

医療の豆知識

結核

結核は「むかしの病気」と思っていますか？

結核は「現代の病気」です。日本では毎年、約3万人の新しい患者が発生しています。



◇ 結核ってどんな病気

結核は結核菌を吸い込むことでおこる感染症です。風邪に似た症状で始まり、病状が進んでくると、痰の中に結核菌が出てきます。結核菌は、そのような人の咳やくしゃみのしぶきの中に入っています。このしぶきの水分が蒸発すると、とても小さな飛沫核というものになり、空中を浮遊します。そして、この浮遊している結核菌の飛沫核を吸い込むと、結核菌が肺の中に入り込み、感染したことになります。結核は、このように空気中を介して、人から人へと感染していきます。これを、空気感染といいます。



◇ 感染したらみんな発病するの

結核に感染しても誰もが発病するわけではありません。過労が重なったり、不規則な生活が続いたりして、免疫力が低下したときに発病しやすくなります。発病するのは、10人に1人程度です。

発病には、感染してから早い時期に病気が進む初感染発病と、感染してから長期間たって発病する既感染発病があります。

初感染発病は大量の菌を吸い込んだ時や、感染した人の抵抗力の弱いときにみられ、子供や若い人に起こります。既感染発病は、昔感染した(その時は発病しなかった)結核菌が、肺のどこかで眠っていて、何十年もして体力が衰えた時に、再び活動し始めるもので、高齢者に多くみられます。

◇ 結核の症状って

主に下記の症状があります。

- ・ 咳が2週間以上続く
- ・ 痰が出る
- ・ 体がだるい
- ・ 微熱が続く



結核の初期症状は、風邪とよく似ています。咳や痰が2週間以上続いたら、結核を疑って早めに医療機関を受診しましょう。

大切な家族や友人などへの感染を防ぐためには、早期発見・早期治療が重要です。

編集後記

今年は比較的暖かい日が続いていましたが、立冬が過ぎ、これから寒くなっていきます。朝晩の冷え込みも少しずつ感じる今日この頃。気温の差に体調を崩さぬよう、みなさんご自愛ください。

担当 T



発行：館林厚生病院
(広報・年報委員会)

〒374-8533

群馬県館林市成島町2-6-2番地の1

TEL 0276-72-3140(代)

FAX 0276-72-5445

